



帯広東ロータリー・クラブ会報

[2013-2014年度]

会長/梶川 融 幹事/高田 進 会報編集 メディア委員長/大塚 正昭

■創立: 1984年6月15日 ■認 証: 1984年6月18日 ■例会日: 毎週火曜日 12:30~13:30

■事務局: 〒080-0013 北海道帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.(0155)25-7347 ■例会場所: 帯広ワシントンホテル Tel.(0155)23-5111

創立30周年記念日まで あと138日 創立30周年記念実行委員

第1413回例会 (2014年1月28日※ 於帯広ワシントンホテル)

- ◎起 立 庄内 S A A
- ◎友情の握手 庄内 S A A
- ◎点 鐘 梶川 会 長
- ◎開会宣言 庄内 S A A

ロータリーソング

手に手つないで



- ③帯広5RC・芽室RC・音更RC合同例会開催のご案内
- 日時 平成26年2月12日(水)
- 会食11:45~
- 例会12:15~13:30
- 場所 ホテル日航ノースランド帯広
- 講師 (有)ゴーアヘッドジャパン

取締役 小田島祐一 様

演題 【国境を越えた人間作りから見える国際理解】

*尚 帯広東RCは2月18日(火)の繰り上げ例会と致します。

ゲスト紹介

梶川会長

元帯広市議会議長 嶺野 侑 様

会長挨拶

梶川会長

先週に続き「ロータリーの友」抜粋記事を紹介します。長野県上田東RC(第2600地区)はクラブ会員の事業所で学童の職場体験を行いました。木工教室(下駄箱作成)、食肉加工教室(手作りウィンナーソーセージ)、電気教室(電気の仕組み)、喫茶教室(地元産フルーツでのパフェ作り)に100名余の参加があり、仕事の大変さ、大切さを感じてもらいました。また、ロータリーの奉仕活動を学童を通じ多くの大人の皆さんにも知らせる機会であったと記載、報告されておりました。



ニコニコ献金

佐藤(基)親睦委員

- 梶川会長 やっと雪が降り、冬らしくなりました。
- 大塚会員 久しぶりの降雪、大平原XCスキー大会も無事開く事ができそうです。
- 加藤(雄)会員 山に雪、平地に小雪、除雪が少なくて楽です。ニコニコします。
- 西田会員 こっそり行ったつもりなのに…加藤(昭)さんに、「どこかに飲みに行ってきたの」と言われてしまいました。京都も高知も寒かった。仕事ですから。

出席報告

加藤(昭)出席委員長

1/28 出席者21名



会務報告

深澤副幹事

- ①次週は第6分区ガバナー補佐、IM実行委員長、ガバナー補佐 セクレタリーの来訪があります。会員の皆さんの出席宜しくお願いします。



- ②帯広東RC 2月11日(火)は祝日のため休会と致します。

プログラム

会員増強・ロータリー情報委員会

【帯広の開拓を語る ー第3話ー】

元帯広市議会議長 嶺野 侑 様
東クラブには3回目という事ですが、それ以前にも伺わせて頂いており、大変恐縮しております。

今話題は映画「銀の匙」で、地元帯広の高校生(農業高校)



をモデルにした作品でかなりの観客を動員できそうです。

映画の話題を横に置きまして、昭和初期の故郷をめぐる話題です。最初は国際結婚です。音更、木野郊外の三沢正雄は清水製糖工場の技師フュリードリッヒ・コッホ（ドイツ人）の娘ヘルタとの国際結婚です。時代背景から行くと色々な面で話題になった事と思います。その後、道南八雲に移り住み有名な肉牛牧場（曾田シャロレー牧場）を創られ、また、道議会議員として活躍されていましたが、昭和29年洞爺丸台風で亡くなりました。牧場は奥さんが子育てをしながら続けられ現在の子孫に引き継がれてきています。

幸福の地名の由来は、福井県人の入植地がアイヌ名で「幸震（乾いた川の意）」と呼ばれ、その「幸」と福井県の「福」の一文字を合わせたのが地名の由来とされています。

※「ナイ」に「震」が当てられたのは、古語で地震のことが「なみ」と言われていたことに由来。

その頃、晩成社農場で働いていた楠木辰三さんの息子熊太郎は晩成社で最初に生まれた子（帯広で生まれた最初の子供）で明治31年頃愛国に移住、国を愛するという

事で付けた名前が「愛国」の由来です。昭和30年代にNHKが新日本紀行で「愛国から幸福へ」爆発的ヒットとなり、その名を全国に知らしめました事は承知の事と思います。現在も帯広の大切な観光資源となっております。

馬文化について、今世界で唯一の「挽曳競馬」は祭りの楽しみとして始まりました。最初は走らせるだけの「草競馬」でしたが、後にソリに重しをのせ引っ張る現在の方法に変わってきました。北海道開拓に貢献してきた馬たちの為にも是非残しておいて欲しい文化遺産です。

十勝管内で和人の名前が地名として残っているのは、音更町の高倉、木野、千野、帯広市の依田、高倉、池田町、池田町高島、豊頃町二宮などです。これらは地域開拓に係わった豪農といわれる人達の名前がつけられています。この他、内地からの開拓団体なども地名として残っております。十勝地方は屯田兵による開拓は行われていないので個人名、地域名などが付けられたかと思えます。帯広市も高倉安次郎をはじめとする一族の経済活動、文化活動が帯広の礎となり、今日の発展に繋がってきた事を次代を担う子供たちにも伝え置く事が大事だと思っています。

（録音を文章化：地名・人名の聞き違い、誤字をご理解ください）

©閉会宣言

庄内S A A

次週プログラム予定

2月4日(火)「ゲスト卓話」(職業奉仕委員会)